

# 村山ひでき

## 市政レポート

ひとをつなぐ まちをつくる



### 市役所庁舎・福祉会館問題の早期解決を！

25年以上もの間、小金井市で行われる選挙のたびに論争されてきたにもかかわらず進展しない**新庁舎建設問題**。老朽化により耐震性に問題があるとして昨年3月に閉館となった**福祉会館問題**。これらの課題について庁舎建設特別委員会委員長を務めていた前小金井市議会議員の村山ひできさんに考えを聞きました。

#### ◆庁舎建設の必要性とは？

賃借庁舎である第二庁舎（いわゆるリース庁舎）の契約期間は25年にもなろうとしており、計画的でなかったとの批判は当然でしょう。あまりにも賃借期間が長くなり、市民からの不信感が高まり、市長選挙や市議会議員選挙のたびに争点となり、すっかり政治問題化してしまったのは市政の怠慢です。

もういい加減に市役所庁舎の建設問題（福祉会館の建設含む）に決着をつけて、浮いた財源を子育て支援や高齢者対策などの福祉施策を中心に振り分けるべきです。2015年12月に「市役所問題を決着する。」と訴えた西岡真一郎さんが市長に当選したことからも明らかなように多くの市民が望んでいるはずで、解決が図られないのは市民にとって不利益でしかありません。

また、1965年に建設された現在の市役所本庁舎は、耐震強度に一部問題があることが判明しています。小金井市も計画停電などを経験した東日本大震災や、庁舎が損壊し使用不能となった自治体が多かった熊本地震などからもわかるように災害対策本部となるべき庁舎は、首都直下型地震が想定される現在、防災活動や支援物資集約の拠点として重要です。着実に、かつ具体性をもって、なるべく早くの建設を目指さなければなりません。

#### ◆政治において結果を残す大切さ

村山ひできは、2013年までの2年間、市議会の「庁舎建設特別委員会」の委員長として市民アンケート、パブリックコメント、市民検討委員会の答申を受けてジャノメ跡地への新庁舎建設を推進しました。当時、2018年度の完成が予定されていましたが、2013年3月に行われた市議会議員選挙に落選後、市は建設費の高騰による財源不足を理由に建設を凍結してしまった経過があり、今日の混乱につながっています。

小金井市で行われる選挙のたびに争点となり、「政争の具」となってしまう庁舎問題の解決は、ある意味、議会改革でもあるといえます。

村山ひできは、西岡市長が示した方針（裏面参照）を支持し、庁舎問題の解決を図るべく全力を尽くします。



#### 市役所庁舎関連年表

1965年	市役所本庁舎 建設
1986年	新庁舎建設の検討を開始
1992年	蛇の目ミシン工場跡地（中町3丁目：約10,000㎡：※以下ジャノメ跡地）を取得（支払い完了は2011年度）
1993年	第二庁舎の賃貸借契約を締結
1994年	第二庁舎の賃借開始
2008年	武蔵小金井駅南口第2地区再開発計画に庁舎建設の計画案。直接請求運動がおこり <b>10000人を超える署名が集まる</b>
2010年	庁舎建設地に対する市民10000人アンケート実施。 <b>多数がジャノメ跡地を支持</b>
2011年～2013年	市民検討委員会によるジャノメ跡地への建設を骨子とする基本構想・基本計画が答申される。この答申を尊重し市は基本構想・基本計画を行政決定
2014年	建設費の高騰を理由に庁舎建設計画を凍結。第二庁舎の買取を提案するも議案撤回
2016年	ジャノメ跡地への新庁舎を含めた6施設複合化を公約に西岡市長が当選。後に「市役所」「福祉会館」の <b>2機能施設の最優先整備へ</b> 。
2017年	ジャノメ跡地への福祉会館建設の方針が示される（裏面参照）

この頃から政治問題化



# 福祉会館建設は新庁舎候補地に

## 2021年度の竣工予定へ



西岡真一郎市長は2月7日の市議会本会議で「新福祉会館(仮称)」について市が取得した蛇の目ミシン工場跡地に整備を進める方針を示しました。

新しい福祉会館の機能には、「子育て支援」、「災害時ボランティア拠点」など、親子や若者、障がい者、高齢者ら「あらゆる市民が役割を持ち活躍できる」地域コミュニティー育成といった機能を持たせると明言しています。また、2017年第1回定例会には福祉会館建

設に向けて市民検討委員会を設置させる予算も上程されており、建設基本計画の策定、市民説明会の実施なども示されました。

村山ひできは「利用者が多く市民ニーズも高い福祉会館の建設は急務であり具体的な方針が示されたのは大きな前進です。特に、福祉会館に子育て支援の機能が入るとなれば初の試みとなり多くの市民から歓迎される施設になるでしょう」と語りました。



## 村山ひできさんこそが 小金井を活性化させる!

村山ひできさんは、2期8年間に渡り、小金井市の発展と課題解決のために小金井市議会議員として一生懸命に活動しました。その後の4年間は小金井市内の民間企業で地域メディアとブロードバンドを担う仕事をしながらも、阿波おどり大会や小金井薪能、小金井桜の保全等々のまちを活性化させる地域活動、献血活動や薬物乱用防止等の福祉・教育分野にも精一杯に尽力してきました。

今日までの12年間の貴重な経験と市民の皆様が村山さんにお寄せいただいている思いは、村山さんの決意をより一層強固なものとし、今、多くの方々が村山さんの活躍を期待しています。明るく元気で前向きな人柄は、周囲の人に、まちに光明を照らしてくれる貴重な人材であり、小金井市政に欠かせない器の広い魅力ある人物です。私は、村山さんの更なる活躍を誰よりも願っています。

「誇りの持てる、住み続けたいと願われる、市民力・地域力が活かされる小金井」を作り上げ、確かな未来を将来世代に継承していくために、私は同志である村山さんに大いに期待しています。

小金井市長 西岡真一郎

## 村山ひでき【プロフィール】

- 1971年  
新潟県南魚沼郡湯沢町生まれ
- 1990年  
新潟県立長岡高等学校 卒業
- 1995年  
明治大学政治経済学部政治学科 卒業
- 1995年  
衆議院議員の私設・公設秘書として活動
- 2005年  
小金井市議会議員選挙に初当選(2009 再選)
- 2013年  
市議会議員選挙に落選し(株)ジェイコム東京(小金井市梶野町)に入社、サラリーマンとして勤務
- 2016年10月  
ジェイコムを退社、小金井市政を前へ進めるべく再起

## 《主な地域活動》

小金井阿波おどり振興協議会 専務理事  
阿波おどり大会実行委員会 副事務局長  
小金井薪能 理事  
小金井薪能実行委員会 警備委員長  
小金井市献血推進協議会 事務局長  
小金井市トライアスロン連合 事務局長  
子ども達を薬害から守る実行委員会 事務局  
明治大学校友会小金井地域支部 幹事  
名勝 小金井桜の会 会員  
小金井青年会議所シニアクラブ 会員  
はけの自然を大切にす会 会員  
小金井市倫理法人会 幹事

通常号 定価1部100円(消費税込み) 年間購読料 3,000円(送料含む)

**Minshin Press**  
The Democratic Party

**民進**

号外 2017年 2月20日  
民進党 民進プレス編集部  
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1  
電話 03-3595-9988(代表)  
メール press@minshin.or.jp  
URL https://www.minshin.jp

**《村山ひでき事務所》**  
〒184-0004 小金井市本町1-5-1アルブ小金井201

電話 042-386-5543 FAX 042-386-5560

メール hideki@murayama.tv

WEBサイト http://www.murayama.tv

Twitter @Murayama\_Hideki

Facebook https://www.facebook.com/hideki.murayama.52